

ワールドコーポレーション 技術社員向け交流会を開催 成長支援拡充、定着率向上へ

その上で、「人員の増加に伴い、直接顔を合わせず話す機会が減っている。悩みや相談を共有し、交流を深める場として活用してほしい」と呼び掛けた。

同社の技術社員は、入社後約2週間の研修を経て各現場に配属され、実践的な環境で経験を積んでいる。配属先が分散し

ていることから、社員同士が離れて業務に当たるケースが多く、孤独感や会社とのつながりの希薄化を問題視していた。こうした課題を踏まえ、交流会を通じて、技術社員同士のつながり強化や会社との結びつき、帰属意識の醸成・向上を図っている。

実際に参加した技術社員は、「意見

建設業界向けに技術者派遣（技術社員）を手掛けるワールドコーポレーション（東京都千代田区）は3月27日、技術社員の成長支援の拡充と定着率向上を目的に「第3回テーマ別交流会」を開催した。当日は52人が参加したII写真。

冒頭、柴田直樹社長は、「皆さんのおかげで全国の技術者数は3600人を超えた。感謝している」と謝辞を述べた。



を交わし合える貴重な機会を得られたことに感謝している。今後も継続して参加したい」と話した。

交流会は、毎月1回開催を予定しており、年間で12回テーマを決めて実施する。